

平成28年(2016)9月11日 (日曜日)

「賢治」「勇氣」語り歌い

東山三咲さんら公演

女優の三咲順子さんらによる「防災一人語り」は10日、一関市東山町の石と賢治のミュージアム「太陽と風の家」で開かれた。宮沢賢治の生誕120年を記念した公演で、賢治の童話を原作とした物語「グスコープドリの伝記」の朗読などを通じ、勇気と元気を届けたい。

「防災一人語り」推進グループ(加藤雅代表)が主催。2005年から防火や防災をテーマに全国で公演を行っており、東日本大震災発生以降は被災地の復興支援にも力を入れている。

同ミュージアムでは2年ぶりの公演で、三咲さんによる「グスコープドリの伝記」のほか、落語

家川柳つくしさんの語りとハーモニカ奏者寺澤ひろみさんの演奏で、少年消防クラブの活動を題材とした「レインボウサイン」を上演した。

三咲さんは物語の朗読とともに、「星めぐりの歌」など賢治作品のピアノ演奏も披露。最後に自

身が作詞作曲した震災復興応援ソング「明日を信じて」を力強く歌い、「勇気を持って、前を向いて

歩いていこう」と来場者に呼び掛けた。

「レインボウサイン」の主人公「ひろみ」のモデルでもある寺澤さんは、ハーモニカ演奏のステージも繰り広げた。町内から訪れた女性(68)

の来世に三咲順子さん

「グスコープドリの伝記」を朗読し、三咲さん



は「大好きな賢治作品の一人語り」に感動し、応援ソングに勇気を頂いた」と語っていた。

防災一人語りは11日午後2時から花巻市の宮沢賢治イーハトーブ館でも開かれる。入場無料。